

生物科学学会連合 第15回連絡会議 議事録

日時：2005年12月12日(月) 15:00～17:15

場所：(株)メディア・イシュー会議室

東京都文京区湯島 2-31-14 1st ジェネシスビル 5階 (TEL. 03-5805-1901)

出席：大森 正之 (本年度代表, 日本植物生理学会)

山下 雅道 (日本宇宙生物科学会) 後藤由季子 (日本細胞生物学会)

園池 公毅 (日本植物学会) 三中 信宏 (日本進化学会)

大隅 典子 (日本神経科学学会) 八杉 貞雄 (日本動物学会)

浅島 誠 (日本動物学会) 武田 洋幸 (日本発生生物学会)

深田 吉孝 (日本比較生理生化学会) 加藤 憲二 (日本微生物生態学会)

松木 則夫 (日本薬理学会)

(計12学会、12名)

鈴木あい, 福田 博, 佐々木博樹(事務局)

欠席：日本遺伝学会 日本解剖学会 日本神経化学会 日本生化学会 日本生態学会

日本生物教育学会 日本生物物理学会 日本生理学会 日本比較内分泌学会

日本分子生物学会 日本免疫学会

(計11学会)

(敬称略, 学会名五十音順)

配布資料：

- ・ 連絡者名簿
- ・ 新入会学会(日本宇宙生物科学会, 紹介資料)
- ・ 第14回連絡会議記録(案)(再)
- ・ 生物科学学会連合の運営に関する申し合わせ事項(案)(再)(再)

議長：大森 正之

議題に先立ち, 各学会連絡委員が紹介された。

議題：

1. 第14回連絡会議記録(案)(再)の確認と承認(持ち回り済)

第14回連絡会議記録(案)(再)が確認され, 承認された。

2. 規約(申し合わせ事項)改定について(持ち回り済)

申し合わせ事項(案)(再)(再)が確認され, 各連絡委員の意見により, 下記を変更することで承認された。

第5条:「再任は認めない」を追加した。

第6条:「必要に応じ」を削除し, 「再任は認めない」を追加した。なお, 「副代表は代表が推薦し, 連絡会議で承認されるものとする」と変更された。

3. 新入会学会の紹介と承認

日本宇宙生物科学学会が新入会学会として紹介され、承認された。

4. 連絡者名簿、変更等の確認

事務局より、連絡者名簿の訂正有無の確認がなされた。

5. 次期学会連合の代表について

2006 年度の学会連合代表について、申し合わせ事項第 5 条により、2005 年度に引き続き、大森正之氏が選出された。

なお、申し合わせ事項第 5 条・第 6 条に関連して、代表及び副代表について下記の意見が出された。

- ・ 副代表は代表が委嘱し、任期は代表と同じく 2 年が適当ではないか。
- ・ 副代表の中の一名は、次期代表とするのはどうか。
- ・ 各領域から副代表を選出してはどうか。
- ・ 代表は輪番制ではなく、学会連合の目的・タスクを明確にし、最も相応しい学会の代表者とすべきではないか。

討議の結果、大森代表より、2006 年より一年間(今期の残任期間)、副代表として浅島 誠先生を推薦したいとの申し出があり、出席者の承認を得た。なお、今回の連絡会議では出席学会が全体の 2/3 に満たなかったため、今後メールでの持ち回り審議により、正式承認可否が決定されることとなった。(「申し合わせ事項:付則 2」より、議決が必要な場合には、会員の 2/3 の賛同をもって決定する。)

6. 運営費(年会費)の納入状況について

事務局より、各学会の運営費(年会費)について、現在 20 団体が納入していることが報告された。

7. 学会連合の今後の活動について

今後学会連合として公に意見を述べる際に、どのような分野で学会連合が構成されているかを確認する必要もあり、個々の加盟学会の専門分野について話し合われた。

討議の結果、基礎医科学、基礎植物、基礎動物、基礎環境生命(多様性科学)、応用生物学等の分野分けが考えられるのではないかと、この意見が提示された。

また、大森代表より、各学会の連絡委員はなるべく同じ人に続けていただきたい旨の要望があった。

8. 学術会議報告

浅島 誠先生より、2005 年 12 月 12 日に開催された日本学術会議の会合の説明があり、日本学術会議の組織が再編され、7 部制から 3 部制に移行したこと、及び会員と連携会員の役割等について報告がなされた。

9. その他

次回の連絡会議は、2006 年 3 月におこなう予定であることが報告された。

(文責：生科連事務局)